

# 介護保険サービス参入等 意向調査報告書

令和5年11月6日

【基準日：令和5年6月1日】

〈四万十市〉

## 目次

I	調査の概要	…	1
1	調査の目的	…	1
2	調査方法等	…	1
3	回収結果	…	1
II	調査結果の分析	…	2
1	事業の開始・開設、規模拡大・縮小、休止・廃止、サービス種別転換等の意向	…	2
(1)	事業の新規開始・開設	…	2
(2)	既存事業所の規模拡大・縮小	…	2
(3)	既存事業所の休止・廃止	…	2
(4)	既存事業所のサービス種別の転換	…	2
2	介護人材に関する状況	…	3
(1)	従業員の過不足	…	3
(2)	不足している職種	…	4
(3)	職員不足の理由	…	5
III	調査結果のまとめと考察	…	6
1	調査結果のまとめ	…	6
2	考察	…	6

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間とする「四万十市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定にあたり、介護サービス事業見込量を把握し、介護サービス整備の検討に係る基礎資料を得るために実施したものです。

### 2 調査方法等

#### (1) 調査対象者

四万十市内で介護サービス事業所及び高齢者福祉施設を運営する法人・事業者を対象に実施。

#### (2) 調査方法

調査対象法人・事業者に対し調査票を送付し、回答済み調査票の返送を受ける方法で実施した。

#### (3) 調査基準日

令和5年6月1日

### 3 回収結果

回収数
30 事業者

## Ⅱ 調査結果の分析

### 1 事業の開始・開設、規模拡大・縮小、休止・廃止、サービス種別転換等の意向

#### (1) 事業の新規開始・開設

No.	サービス種別	開設予定時期	定員	開設地域
1	居宅介護支援	令和6年4月	-	中村地域
2	訪問看護	未定	-	中村地域

※一般病床（医療保険）からの転換による開設

#### (2) 既存事業所の規模拡大・縮小

No.	サービス種別	規模拡大等 予定時期	現在の 定員		変更後 定員	所在地域
1	短期入所生活介護	令和7年4月	10	⇒	5	西土佐地域
2	認知症対応型共同生活介護	令和6年7月	9	⇒	18	西土佐地域

#### (3) 既存事業所の休止・廃止

No.	サービス種別	廃止等予定時期	所在場所
1	訪問入浴(休止)	未定	西土佐地域

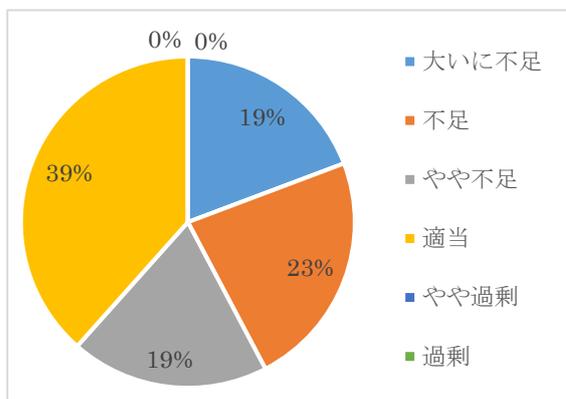
### 2 介護人材に関する状況

#### (1) 従業員の過不足

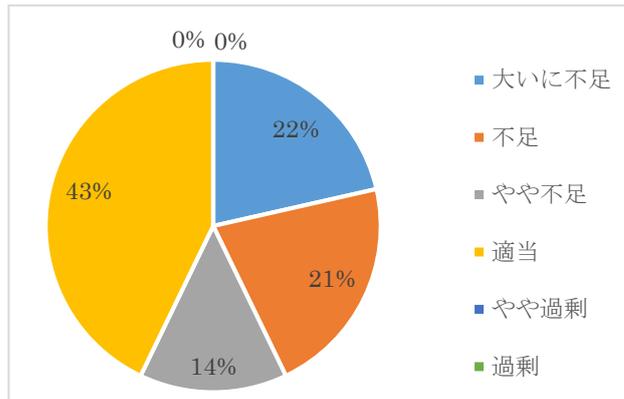
従業員の過不足状況について、全事業者の回答結果を集計したところ、「不足」（「大いに不足」、「不足」、「やや不足」と回答した事業者の合計）と回答した割合は61%となっています（図表 2-1）。前回は93%であったことを踏まえると改善しているようにも見えますが、「大いに不足」の割合は14%から29%へと増加しており、不足状況が2極化していると考えられます。

「不足」の割合を、サービスの類型別に集計したところ、「訪問系」においては57%、「通所系」においては87%、「入所・入居系」においては77%となっています（図表 2-2～2-4）。

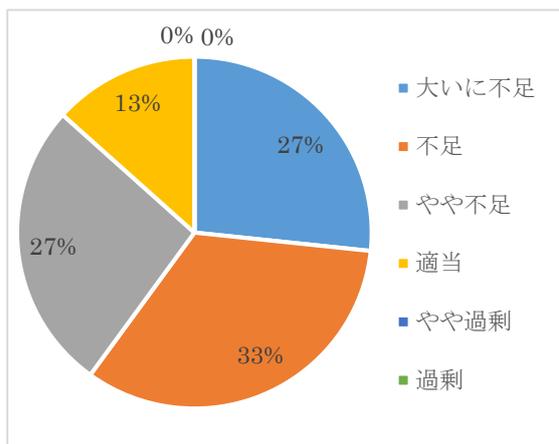
図表 2-1 従業員の過不足（全体）



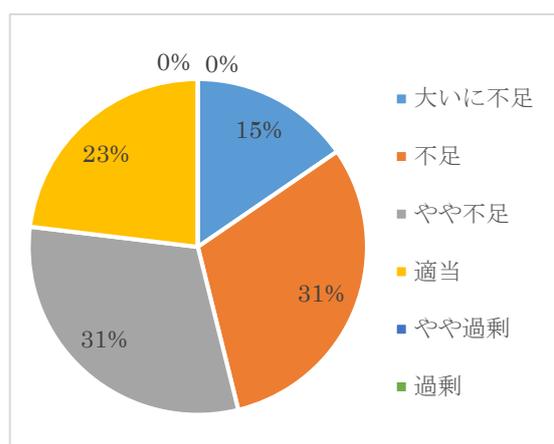
図表 2-2 従業員の過不足（訪問系）



図表 2-3 従業員の過不足（通所系）



図表 2-4 従業員の過不足（入所・入居系）

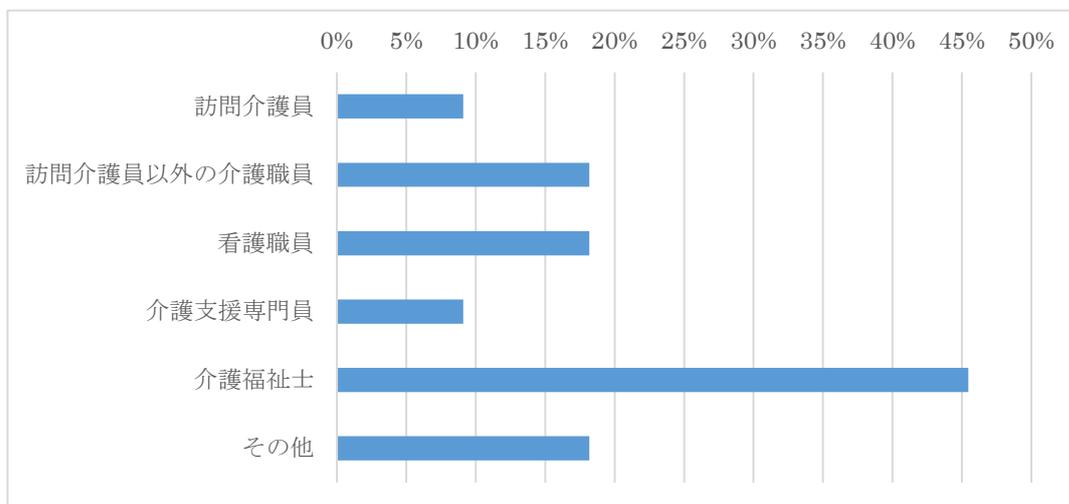


**(2) 不足している職種**

不足している職種を集計したところ、「介護福祉士」の回答率が最も高くなっています。これは、職員に占める介護福祉士の割合が一定以上の場合に取得できる加算があるため、介護福祉士の採用を希望している可能性があります。

なお、「その他」については、「管理栄養士」、「調理員」、「福祉用具専門相談員」、「看護補助」が回答されています（図表 2-5）。

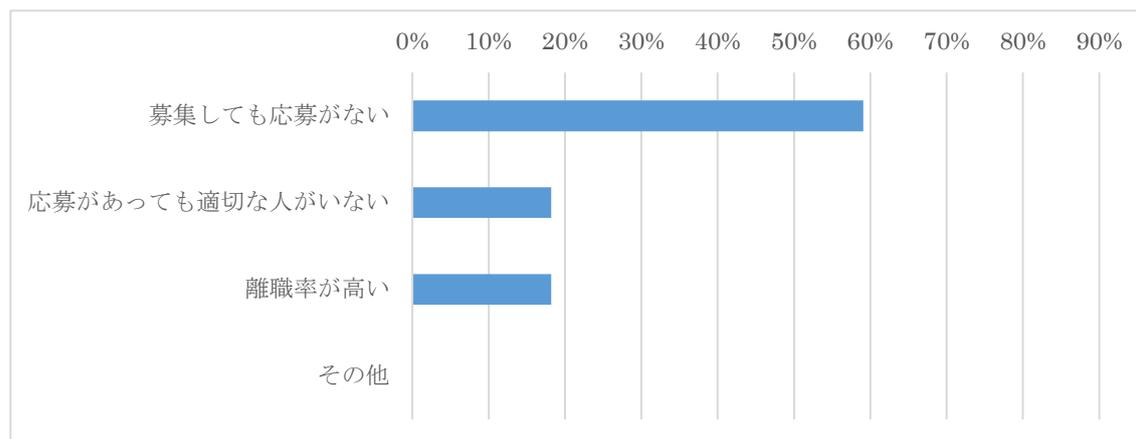
図表 2-5 不足している職種



**(3) 職員不足の理由**

各事業者が感じている職員不足の理由について集計したところ、全サービス種別において「募集しても応募がない」が最多となっています。（図表 2-6）。

図表 2-6 職員不足の理由（複数回答）



### Ⅲ 調査結果のまとめと考察

#### 1 調査結果のまとめ

- 介護人材の不足状況は、全サービス種別において、半数以上の事業者が多少でも「不足」と感じている。また、充足している事業所と不足している事業所で2極化している傾向がある（2ページ）。
- 不足している職種については、「介護福祉士」が最も多くなっている（3ページ）。
- 職員不足の理由については、「募集しても応募がない」が最も多い（4ページ）。

#### 2 考察

同時に行った介護人材実態調査からは、必ずしも介護職員が増えたとは言えないこと、また、介護職員は、介護職場からほかの介護職場への移動が多いことがわかります。これを踏まえると、介護職員の充足感の2極化は、介護職員がより働きやすい職場へ移っていることによる可能性があります。

実際に、処遇改善に関する加算に関しても、取得している事業所と取得していない事業所とがあり、職場によって処遇や働きやすさには差があると考えられます。これらの底上げをすると同時に、介護職員募集の応募につながるような取り組みが求められています。